

おまほ

Interior-HOSOI mail magazine
Vol. 63

題して

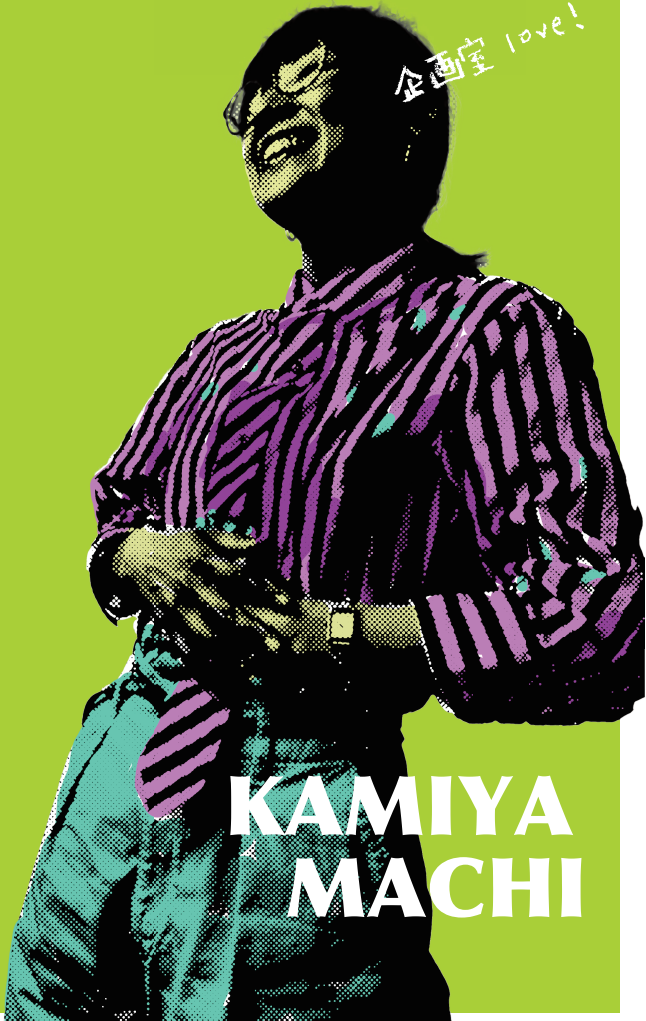
うらほそ。

今回は、インテリア企画室

神谷 カミヤ 編

#03

ホソイ暦、8年目になりました。



KAMIYA MACHI

今回は、私達内装工事店で働くスタッフ大公開！うらの裏まで見せちゃうぞ！
題して「うらほそ」第3弾。
今回は、我、インテリア企画室で7年勤めているわたくし、神谷でございます!!!!

日本画専攻からインテリア企画室へ

芸術大学時代

現在は、インテリアホソイの広報担当として社内でのSNSの発信や、紙資料のデザイン、イベントの企画を月2・3回の出向とリモートワークで行っております。ホソイで働く前は、芸大生として6年間、日本画専攻で絵画を描いておりました。時には産学連携授業に没頭したりする日々も。学生だからガッツリバイトして遊ぶ！とか、海外旅行行く！などの目標は持っていました。日々の課題に向き合い、スケジュール帳は常にスケジュールがびっちな状態でした。美術とは関係なかったかもしれませんが、コッコツとスケジューリングを組むのが好きだったのかなと思います。



▲産学連携で WindowDisplay のデザインリーダーをさせてもらった時。作り上げた後、疲労で寝込みました。笑

時に、絵画を出展してみたり。



▲とはいえ、一応日本画専攻でしたので、年に2回は、グループ展に出展していました。何を描いていたのかなあ、今とあまり変わらない抽象的なものが多かったです。はい。。。。

時に、祇園でバイトしてみたり。



▲「きやーきやーお恥ずかしゅうございます。花見小路から少し入った小さなお店で「社会勉強」。私の母より年上のママにお着物を着せていただいて、お店の片隅でお酒をせつせと作っていました。※ヘアセットは必ず自分

分で行なければなりません。ママのOKが出るまで、頑張っていましたのを思い出します。。。

そして、大学院修了後、キラキラのインテリア企画室へ

インテリアホソイとの出会いは、OCOカード目当てに友人に付いて行った合同企業説明会でした。なんとなく興味を持ち始めていた壁素材や、学生時代に取り組んできた企画が意識の中にあり、ホソイの「インテリア・企画」という職種を見て、キラキラ！「ココだ！」と思いました。そして、無事採用いただきまして、晴れてインテリア企画室で勤め始めました。

インテリア企画室の広報担当へ

コロナウィルス蔓延の時期に家庭の事情で退職しましたが、リモートワークの広報正規雇用を提案してもらい、復職させていただきました。今までは、インテリア企画室で内装のコーディネート・企画や広報と全般をしていましたが、これがかつかけで「広報専属」により集中して広報の内容を深めていくことができました。おかげで視界がよりクリアに！でも、リモートで仕事をする中で「相手に思いを伝える事の難しさ」にぶち当たりました。企画や思いをデザインする。魅力伝える。カタチにする。言葉の一言一言に気を使い、心を込める。色づかいや質感で表現する。心地よい優しい空間を創造する。

こんな「想いや方法、表現する技術や考え方。目に見えないものだけど、全部デザインするんだよ。」と、企画室のボス後藤さんに教えてもらっています。○×デザインを今まで以上にまじまじと見て質問しながら、企画や広報物の構想や添削をしてもらっています。

昨年11月に開催させていただいた、インテリアの国際見本市「ジャパンテックス」では、テーマに合わせてコンセプト企画「インテリアコーディネート」を行いました。この展示会の際、後藤さんから「よかったよ。」と言ってもらった時は、とにかく嬉しくて、脳内でガッツポーズをしていました。



▲ジャパンテックスでコーディネートした空間。京都を愛す女流日本画家の部屋。「京×画×生」をコンセプトに。

インテリア企画室のこれから

インテリア企画室で広報の仕事をする中で、「想いを伝える」をシンプルに意識。そして、部署で心がけていることは、
●個性を生かそう！●トンがった提案もどんどんOK●企画・広報物を楽しく笑顔で元氣よく！●助け合ってチーム力を強化する！
です。やるねえ！インテリアホソイ！と感じてもらえるような企画・広報物を今後も目指します！
ありがとうございました！

次回のゲストは… お楽しみに！
じゅじゅつなぎ！
私が気になる人に繋ぎます。